

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103730
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム笹貫の家
所在地	鹿児島県鹿児島市小松原1丁目1番2号 (電話) 099-268-2627
自己評価作成日	平成26年11月14日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「笑顔の絶えないグループホーム」「あなたが今できることを大切に」「いつまでもおいしく食事が摂れて、元気で過ごせるように」の理念を根本に大切にしたい、その方にとってここが家だと思っていただける、またその方にとって私達職員も家族の一員となれるような寄り添うケアを大切にしています。季節ごと、また定期的な室内や外出行事を多く取り入れ、ご本人はもちろん、ご家族の方々にも喜んでいただけるようなイベント内容を実施できています。ご要望やご相談事、お困り事など、事業所や管理者、職員に対して気兼ねなく話していただけるように管理者はじめ、職員全員が心がけて努めています。また町内会としての活動にも積極的に参加させていただき、地域清掃や町内夏祭り、校区運動会などの季節行事にも入居者が主体となって参加しており、毎年の楽しみイベントとなっています。口腔ケアにも力をいれており、協力歯科医院がお一人おひとりの口腔状態を管理し、安心できる口腔状態が維持できるように努めており、食事に関しても、「入居者様にとって何よりも一番の楽しみ事はお食事」という入居者様の想いを大切に、野菜を中心に季節の食材を使用した、充実した内容の食事献立となっています。食事に関して、入居者様が食べたいメニューを入居者様よりお聞きして、できるだけ希望に沿った食事メニューを提供できるよう努め、毎日の食事を楽しくおいしく召し上がっていただけるように常時工夫しています。最寄りに市電やバス停があり、お車でもお越しいただきやすく、ご家族様やご友人の方をはじめ、お越ししやすい住環境にあるグループホームです。また近隣に様々なお店や飲食店、郵便局、銀行など入居者様にとって利用しやすい地域資源があることも魅力のグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市南部に位置し、周りは商店街や病院、スーパーなど活気のある環境の中に建てられたグループホームである。開設以来、町内会をパイプに地域の清掃活動や運動会には、いづれも利用者も参加をしており、管理者は自ら毎月の地域の防犯パトロールに協力し、ホームの存在も浸透してきている。ホーム行事ではボランティアによる歌や踊りの披露や近隣の小中学生・高校生の学習体験、専門学校の実習生の受け入れもあり、避難訓練には地域住民の参加も得られていることから、着実に地域に根付いてきており、双方で協働の関係が出来てきている。多様な外出支援にも力を入れており、年間計画を立てソープ流しや季節の花見の他に大型ショッピングモールのフードコートで家族同伴で食事をし、買い物を楽しむ事もある。初詣やイルミネーション見学など個別支援も交えながら出来るだけホームに閉じこもらない生活を心掛け家族の協力や職員の努力で実践出来ている。食事が利用者の生活の中での楽しみであることに答える為にも、個々に合った介助のペースや利用者の食感にあった調理法などに配慮し希望に添える様に心掛けている。マイ箸やマイスプーンはホームからの敬老の日のプレゼントであり利用者は愛着を持って使っている。利用者の笑顔や「ありがとう」のことばが嬉しく、やりがいを感じながらケアに当たっている様子が職員の聞き取りからも伝わり、その姿勢は利用者の笑顔や明るさを引きだし、感謝の言葉になって返っている様子が覗えるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で全員で理念の唱和を行い、理念の確認と共有をし日々実践できるよう努めている。	開設時に職員で話し合っただけで理念であり、利用者の今の状態を確認しながら、毎朝の朝礼や月のミーティングで振り返りを行い理念に添って日々のケアに向けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	月1の地域清掃、防犯パトロールに参加することで、地域との交流ができ、地域主催の行事等に参加またホーム主催の行事等にお招きすることで、日常的に交流できている。	地域の清掃活動や地区の運動会へは利用者も参加しており、地域の防犯パトロールにも協力するなど地域交流の機会を多く持つよう努力している。誕生会などのホーム行事にはフラダンスや三味線などのボランティアの受け入れなど地域住民の参加もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議に地域代表の方にも出席いただき、認知症理解や取り組みを発信している。また町内の総会や防犯パトロールに参加し、GHとはどういう所なのかを随時発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営状況報告を毎回行い、参加者に周知報告している。また町内会長、民生委員、家族代表に意見をもらい、地域との取り組みや、事業運営上のことなどのご助言をいただいている。	家族参加が多く得られる様に、新年会や避難訓練と合同開催する工夫をしている。消防署からの避難時のアドバイスや改善点などの貴重な意見をもらい、話し合いの場での議題に取り上げるなどしサービスの質の向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居状況について、地域包括支援センター職員と情報交換を随時行ったり、生活保護課の担当者と、担当入居者について情報交換や協力関係を築くよう取り組めるように日々努めている。	ホームの現状報告など日頃から、連携が採りやすい関係ができており、双方で協力関係が出来ている。介護相談員の受け入れもあり、福祉課の担当職員とも利用者情報の密な連絡を取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の職員会議で身体拘束・虐待事例の報告を義務づけ、また定期的な内部研修での学び、身体拘束廃止マニュアルを作成し、周知理解徹底を行っている。	年間の研修項目にも挙げ、マニュアルや具体的な事例検討会を重視し、特に言葉遣いについては職員間で都度、注意し合い抑制のないケアへの意識を高めている。夜間以外は。玄関や居室の施錠はせず見守りを強化し自由で安心、安全な暮らしの支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の職員会議で身体拘束・虐待事例の報告を義務づけ、また定期的な内部研修で皆で研鑽している。また虐待廃止マニュアルを作成し周知理解の徹底を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在対象となる入居者はいないが、権利擁護に関する制度の理解を管理者・職員全員で学ぶように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結、解約又は改定等の際は懇切丁寧に十分な説明を行い、家族会議や運営推進会議、書面にて理解、納得をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会議や運営推進会議でご意見やご要望をいただいたり、個別での相談やご意見をいただき、職員会議や運営推進会議、月々のホーム便りで外部へ表し、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や年2回の敬老会、新年会を兼ねた家族会には多くの参加があり、意見要望の聞きだしの大事な機会と捉えている。出された意見や要望は、職員間で話し合いサービスの質の向上に繋げている。外部への申し出の手段として、重要事項説明書の中に第三者委員の明記もある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月々の職員会議で、職員各自から運営に関する意見を聞いたり、また個別的に面談という形をとり、運営上の意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>経験豊かなスタッフが多く、殆どが有資格者の職員配置になっている。朝夕の申し送りや職員会議を通して現場の気付きやアイデアを出し合い改善に繋げている。内部研修や外部研修での情報も共有し、サービスの質の向上に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者に対して、管理者はじめ職員各位の各状況を管理者が代表で報告等行っているが、給与水準に関しては、反映されていない。代表者は給与水準に反映できるように努めている状況。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は管理者や職員各位に法人負担での研修参加を促し、個々人のスキルアップにつながるように様々な研修機会を設けて随時案内して努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は管理者や職員をはじめ、同業者や多職種共同での交流機会を定期的に作り、サービスの質向上させる取り組みを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人やご家族に対し、サービス利用開始時に十分なアセスメントやご要望・ご相談に傾聴し、ご本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始時にご家族様の相談や困り事に対して傾聴し、良好な関係作りができるように、管理者をはじめ、職員各位が努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>十分にアセスメントを行い、その時に必要とされている事柄を見極め支援につなげられるように、他のサービスも含めての対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>理念を根本とし、ご本人に寄り添うことを心がけ、相互の関係が暮らしを共にする者同士の関係性が築けるように日々努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族支援も含めた認知症ケアであることを職員各位が理解できるように努め、ご本人とご家族の関係を大切にし、ご家族と共にご本人を支えていく関係作りができるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人にとって馴染みのある方々は随時面会やお電話、お手紙等を受け付け、馴染みの場所についてもご家族の協力を得て、ご本人と馴染み関係について途切れないように努めている。	家族と自由に話がしたいという利用者は固定電話を居室に引き気兼ねなく会話を楽しんでいる。友人や知人の来訪もある利用者もおり、行きつけのスーパーへ洋服を買いに出かけるなど、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を含めた関係性を職員間で把握共有し、入居者様同士が円滑且つ良好な関わりができるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も随時相談や支援できる体制を築いており、これまでの関係性を維持できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	パーソンセンタードケアを根本とし、また理念に沿って職員各位が意識しながら、お一人おひとりの暮らしを本人本位で考えて努めている。	意思確認の可能な利用者も多いが困難な場合は、こちらからの声掛けを重視し、表情や所作から汲み取り職員間での気付きや連携で利用者の思いや意向に添ったケアを実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人からこれまでの暮らしについて、アセスメントし、職員間で情報共有できるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様お一人ずつに主たる担当職員を配置し、その人の心身状況や1日の過ごし方等、把握し、それを職員全体で共有できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケアカンファレンスを開催し、検討課題を挙げ、その方がより良くご本人のペースで暮らせるように努め、それを介護計画に反映させて作成している。	日々の関わりの中で利用者や家族の生活に対する思いや意向を訊きとると共に、把握した課題をカンファレンスで話し合い現状に即した介護計画を作成している。趣味や外出レクリエーションなども取り入れ家族も支援者の一人と考えてプランに反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者様の個別ごとにケアの実践・結果・気づきを記録し。随時職員が閲覧できるようにし、それを介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の要望やニーズに沿って、随時職員間で情報共有し臨機応変の柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣や地域の社会・地域資源を把握し、ご本人にとってより良い豊かな暮らしができるよう、また楽しめるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時及び定期的にご本人やご家族にかかりつけ医について、意見を聞く機会を設け、希望に沿うような医療に関する支援ができるように努めている。</p>	<p>家族の要望を大切にしており、入居前の掛りつけ医の支援もしている。家族受診の際は主治医に心身状況を記した文書で詳しい状態を伝えている。利用者の些細な変化にも適切な対応ができるように職員に看護師の配置もあり健康管理も安心できる環境にある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場内の看護職員や他の訪問看護師等と連携し、入居者様が適切な受診や看護を受けられるよう支援できている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は医療機関と相談連絡に努め、情報共有と情報提供ができる連携を行い、早期の退院につなげられるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の方に関しては、現在事例が無いが、ご家族と十分に話し合い、また職員会議や個別で職員とも意見交換の場を設けている。今のところGHとしてできるところまでさせていただき、旨を書面を通してご家族に理解していただいている。</p>	<p>ホームとして重度化や終末期に向けた指針を作成し、家族に説明して同意を得ている。利用者の身体状況に応じて、主治医や家族と繰り返し話し合いながら随時意思の確認をしている。職員も方向性を共有し、希望に添える様にホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や急変時の初期対応の訓練を受ける機会が中々無いが、職員各位が日頃から急変時の際の意識をもち実践力を身に付けられるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害や火災に対して、入居者が安心安全に避難できるように定期的に避難訓練を行い、また地域とも災害に対しての取り組みについて協議継続している。</p>	<p>年に2回、消防署指導の避難訓練を実施し、内1回は運営推進会議と同時開催で地域住民や家族参加も得ている。夜間想定や地震から火災に繋がるケースの想定訓練もしており、常に利用者の安全を第一に考えた訓練を行っている。非常災害時の備蓄の確保もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人おひとりに敬意を表し、その方にとって一番親しみがもてるまた、安心して過ごせるような言葉かけができるように配慮している。	法人全体で接遇マナーの研修があり、意識付けをしている。「安心して笑顔で」の理念に添って職員は日々のケアに当たっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活上で、ご本人が希望する生活上の自己決定ができるような働きかけを職員各位が理解し働きかけることができている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人おひとりの生活上のペースを大切にして、本人本位で生活できるような支援に取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪や着ている衣類等の身だしなみやおしゃれが楽しめるように支援できている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節ごとに食事献立を工夫し、またその方に見合った食事量を把握し提供できている。また準備段階から一緒に取り組んでいる。	敬老の日にホームよりプレゼントされた箸やスプーンを使い栄養士の立案したバランスの良い食事を楽しんでいる。家族も同伴しての外食や花見弁当など折に触れ目先を替えた提供形態で、利用者の毎日の食事が楽しくなる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>バイタル表に食事・水分量を記載し、その方の状況を把握できるように支援できている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎日毎食後に口腔ケアを行い、口腔状態を把握して、歯科受診も含めた口腔ケアに努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>できるだけトイレでの排泄ができるように、排泄パターンを個別の記録から把握して、安心して排泄に配慮して支援できている。</p>	<p>排泄チェック表や介護記録を基に、利用者個々の一日の排泄パターンを把握できおり、適時の声掛けや誘導で日中はトイレでの排泄を支援をしている。改善した利用者も多く、本人の自信や職員のやりがいに繋がっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日ヨーグルトやホットミルクを提供し、食事献立についても栄養士が中心となり、繊維物が多く摂れるように便秘対策に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や時間を気にせず、希望に沿った入浴への支援ができています。	週3回の入浴になっているが、希望に応じて回数や時間は柔軟な対応をしている。季節に依り、ゆず湯や入浴剤で温泉気分を味わえるようにし、入浴が楽しみな時間になる様に工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後に必ずホットミルクを提供し、安眠につなげられるよう努め、室内の温度、照明にも配慮した取り組みができています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている服薬についてご本人に説明し、服薬管理を十分に行い、安心安全な服薬支援ができています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	定期的な内外のイベントを企画し、参加していただき、GH生活上での一つの楽しみと受け取っていただいている。また一人一人の役割がもてるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事計画を立て、定期的に外出が楽しめるよう、ご家族や地域の協力を得て取り組んで支援できている。	近隣の民家のバナナの成長を楽しみに散歩を日課にしている利用者もいる。年間行事のイベントでの外出も多く、初詣や花見、ソーメン流しなど家族の協力や個別支援で、出来るだけホームにとじ込まない生活で、五感の刺激や満足感を得られる様な外出支援を職員全員で取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金に関して個々人の理解力を見極め、希望する際や必要時にご本人も含めてお金が使えるように支援できている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>随時、電話をかけること受けることを支援し、また年賀状や定期的な手紙等のやり取りができるように支援できている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日々快適な環境整備に努め、動線上の配慮や季節ごとの壁面を工夫し、居心地よく過ごせるような工夫や取り組みができている。</p>	<p>対面キッチンで見守りに配慮した造りであり、利用者が思い思いに自由に過ごせる様にソファのスペースも多く設けてあり、広々としてゆったりくつろげる共用空間になっている。年齢順位を表した長寿番付のユニークな壁かけや職員と共に作成した季節を感じ取れる作品や行事写真などを貼り、利用者の充実した日常生活が伝わってくる工夫を随所でしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間のスペースの問題で、独りになれる居場所作りができていないが、独りになりたい時など、ソファや落ち着ける雰囲気作りに配慮して努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時や定期的に馴染みある家具や衣類等を持ち込んでいただけるようにご相談し、ご家族の協力を得て居心地よい居室作りに努めている。</p>	<p>箆箆とベットの備付の他に、思い入れの深い位牌や家族写真、日本人形などを置いている。固定電話の設置や身体状況に応じ電動ベットにするなど利用者個々に応じた居室作りであり、自宅の一室の様に安心して暮らせるプライベート空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様各自ができることやわかることができるように、安全で安定的な自立した生活が送れるような工夫や取り組みができている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない